

図書館だより



京都市立九条中学校

図書館

令和6年度 11月号



「きんろうかんしゃ ひ」 『勤労感謝の日』によせて

としょかん ながめるけしき あき ふかまり かんじられます
図書館から眺める景色も秋の深まりが感じられます。

きたる 11がつ23にち きんろうかんしゃ ひ たつとび せいさんせい
来たる11月23日は勤労感謝の日。勤労を尊び、生産性を
いわい こくみん たがいにかんしゃ ひ 2ねんせい
祝い、国民が互いに感謝しあう日とされています。2年生

ちゃ れん じたいけん 1ねんせい
は「チャレンジ体験」、1年生は「ジョイ JOB LAND」、と
きんろう とりくみ おこなわれました はたらく かんしん
勤労にちなんだ取組が行われました。働くことへの関心

たかまる ほう かんしゃ きもち おのず おおきく
が高まるとともに、おうちの方への感謝の気持ちが自ずと大きくわいてくるのでは
ないでしょうか。

としょかん かんれんほん おおく 1ねんせい ふろ あ ぶんこ くらす
図書館にも関連本が多くあります。また、1年生フロアのたちよみ文庫やクラス
ごとに設置した 職業 調べに関する文庫も活用して、学びを深めてください。自分
はなに しあわせ かんじる かんじる
は何に幸せを感じるのか、どんなことにやりがいを感じるのか、どのような 職業
に就きたいのか、未来にも目を向けていきたいですね。3年生の進路選択もそのう
ちの一つ。叶えたい しょうらいぞう がっち みち じぶん えらびとれる ねがって
ちの一つ。叶えたい将来像に合致した道を、自分自身で選び取れるよう願ってい
ます。

としょかん 図書館からのおすすめ

* 「すごいぞ！はたらく知財」 ちざい うちだともこ ほか
内田朋子 他

ちやくさくぶつ とっきょ しょうひょう いしやう ちてきざいさん しごと
著作物・特許・商標・意匠などの知的財産にかかわる仕事について、さまざまな
けんり りようほう かいせつ ちざい うみだすしごと おくぶかさ ふれられます
権利や利用法をわかりやすく解説。知財を生み出す仕事の奥深さにも触れられます。

(だそく) ほんしょ ひんと しらべて しきさい しょうひょう しって
【蛇足】本書をヒントに調べてみました。色彩のみからなる商標があると知ってび

たっぷり！国内には^{こくない}9例^{9れい}あるそうです。

《セピア・白・オレンジ》の色の組み合わせ → ^{〇〇〇}ラーメンのパッケージ

《白・オレンジ・緑・赤》の色の組み合わせ → コンビニの看板

《青・白・黒》の色の組み合わせ → 消しゴムケース

なども商標登録がされています。配色だけで店名や製造会社がわかりますね？

参考：特許庁の広報誌『とっきよ』

* 「Work Rule 15歳^{15さい}のワークルール」^{Work Rule} 道幸哲雄^{みちゆきてつお}

働く^{はたらく}ことにどんな意味^{いみ}があるのか？仕事^{しごと}につくときやするとき、仕事を辞める^{しごとやめる}ときのルール^{るーる}は？ 素朴^{そぼく}な疑問^{ぎもん}や実例^{じつれい}をはじめ、関連^{かんれん}する法律^{ほうりつ}についてもわかりやすく書^かかれています。

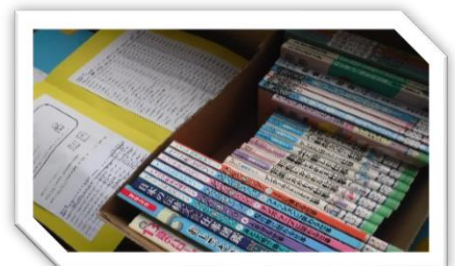
* 「君のお金^{きみのおかね}は誰^{だれ}のため」^{きみ} 田内学^{たうちまなぶ}

勤労^{きんろう}とお金^{おかね}は切^きっても切^きれない関係性^{かんけいせい}があります。この本^{ほん}は、お金^{おかね}の正体^{しょうたい}や社会^{しゃかい}の仕組み^{しくみ}について学^{まな}べる物語^{ものがたり}です。ある大雨^{おおあめ}の日^ひ、中学^{ちゅうがく}2年生^{2ねんせい}の優斗^{ゆうと}が大富豪^{だいふごう}の暮^{くら}らす謎^{なぞ}めいた屋敷^{やしき}に足^{あし}を踏^ふみ入^いれることになります。そこで「建物^{たてもの}の本^{ほん}当^{とう}の価^か値^ちがわかる人間^{にんげん}にこの屋敷^{やしき}を譲^{ゆず}る」と言^いわれた優斗^{ゆうと}…。続^{つづ}きは本書^{ほんしょ}を読^よんでください！

* 「大切^{たいせつ}にしたいものは何^{なに}？」^{つるみしゆんすけ} 鶴見俊輔

いずれ働く^{はたらく}とはいうものの、そもそも自分^{じぶん}ってどうい^{にんげん}う人間^{にんげん}なのか。どんな価値観^{かちかん}や理想^{りそう}をもっているのか。知^しっているよう^{じつは}で、実^{じぶん}はよくわ^{さく}からない自分^{さく}がいます。作中^{さく}では、ひとり^{ろうじん}の老人^{13めい}と13名^{ちゅうがくせい}の中^わ学生^{じぶん}が輪^{とり}になって、自分^{じぶん}たちを取り巻^まく問題^{もんだい}について話^はし合^あっていき^{ちやう}ます。(老人^{ろうじん}は哲学者^{てつがくしゃ}である著者^{ちやうしゃ}です。)

■ 職業調^{しよくぎあうしらべ}べに関する文庫^{かんするぶんこ}⇒



ふゆ とくべつかしだし
★冬の特別貸出★

こんだんきかんちゅう ふゆやすみ おいえ
懇談期間 中や冬休みにお家でゆっくりと本を読んでもみませんか？

なに きぜ わしい じ き そと さむさ へや ほん
何かと気忙しい時季ではありますが、外の寒さをよそに、あたたかい部屋でぬくぬくと本の

せかい ひたる しあわせ かんじます おんぷ
世界に浸るのは幸せを感じますよ♪

かしだし さちすう 5さつ
■貸出の冊数 1人につき5冊まで

かしだし かいし 12がつ2にち げつ ひるやすみ
■貸出の開始 12月2日（月） 昼休み

へんきやく きげん 1がつ9にち もく ひるやすみ
■返却の期限 1月9日（木） 昼休み



せんそう へいわ かんするほん
戦争と平和に関する本もおすすめてです。

ちゅうこうせいしんぶん
中高生新聞もあります。

